

テーマ 春先取り

主な花材



ガーベラ

(静岡県産)

名前の由来は、発見者であるドイツ人の医師で植物学者でもあったゲルバー (Traugott Gerber) に敬意を表して命名されたといわれています。本来は真っ赤な色の花が基本でしたが、品種改良されてピンク、黄色、オレンジなどいろいろな明るい花色や、八重咲き、スパイダー咲きなどの花形の品種があります。

花言葉：希望、常に前進



サクラコマチ

(和歌山県産)

名前の由来は、愛らしい淡いピンク色が本物のサクラのように見えることからつけられました。茎の上部に粘液を分泌し、虫が寄りつくことから「ムシトリナデシコ (虫取撫子)」とも呼ばれます。

花言葉：青春の愛、未練



スイートピー

(和歌山県産)

名前の由来は、「スイート」は香りのことを、「ピー」は豆を意味し、ほのかな甘い香りがすることからといわれています。

花言葉：門出、優しい思い出



ネコヤナギ(紅七変化)

(群馬県産)

ネコヤナギは、花穂が猫の毛 (しっぽ) のように見えることから名付けられました。銀白色の他にも、ピンクやゴールド、灰色などの様々な種類があります。

花言葉：自由、率直、開放的



エンドウ豆の葉

(千葉県産)

歴史の古いエンドウ豆は、紀元前7000年頃から栽培されていたといわれています。「いつまでも続く楽しみ」という花言葉は、古くから今日に至るまで長い間人々に親しまれ、今後も栽培する楽しみが続いていくイメージからつけられたそうです。

花言葉：必ずくる幸福、いつまでも続く楽しみ

